

平成30年度 第2回 出張緩和ケア研修 アンケートのまとめ

I. 開催

- ・日 時：平成30年9月11日（火） 17:45～19:15
- ・場 所：介護老人保健施設みずばしょう ディケア室

II. 内容

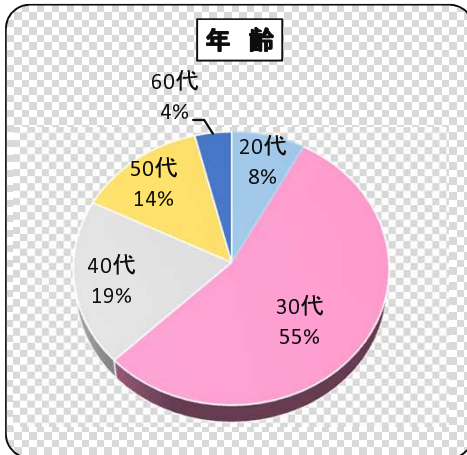
- ・テーマ：喪失・悲嘆・死別、コミュニケーションについての講義とロールプレイ
- ・講 師：訪問看護ステーションとるて 緩和ケア認定看護師 鉦持 朝子氏

III. 参加者

- ・参加人数：61名
- ・アンケート協力者：51名（84%）

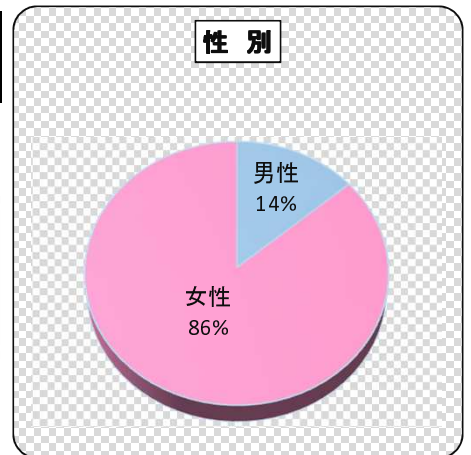
【年 齢】

20代	4
30代	28
40代	10
50代	7
60代	2
計	51



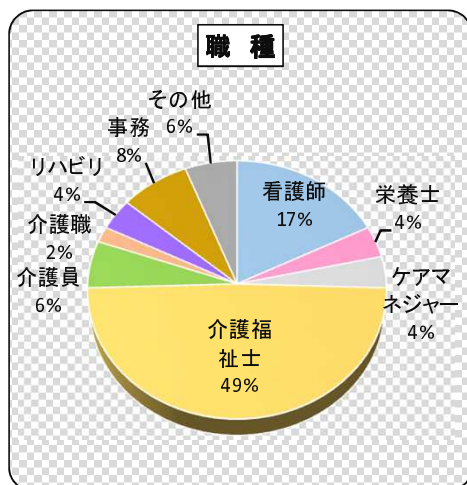
【性 別】

男性	7
女性	44
計	51



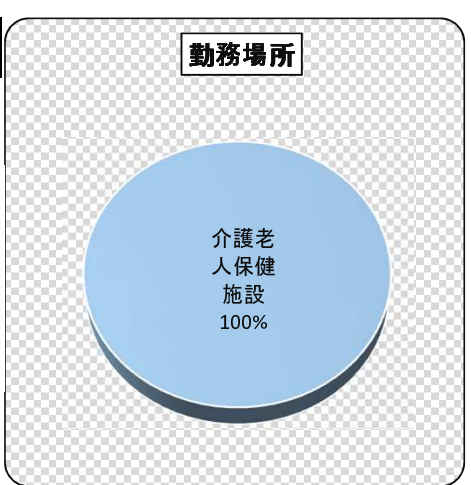
【職 種】

看護師	9
栄養士	2
ケアマネジャー	2
介護福祉士	25
介護員	3
介護職	1
リハビリ	2
事務	4
その他	3
計	51



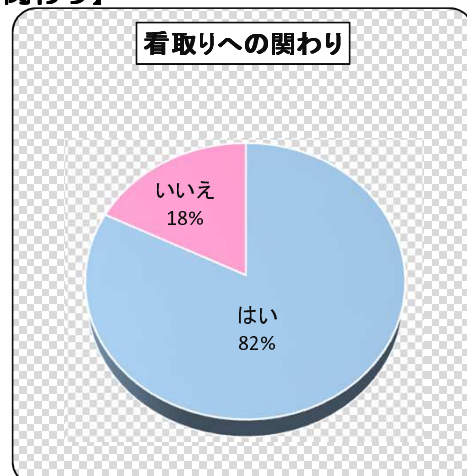
【勤務場所】

介護老人保健施設	51
計	51



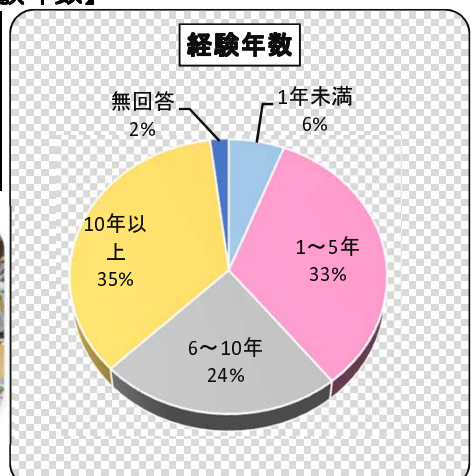
【看取りへの関わり】

はい	42
いいえ	9
計	51



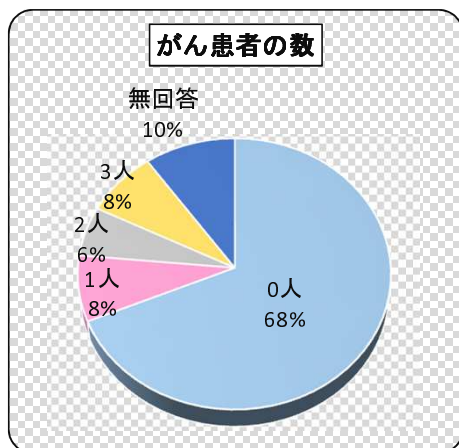
【現在の場所での経験年数】

1年未満	3
1年～5年	17
6年～10年	12
10年以上	18
無回答	1
計	51



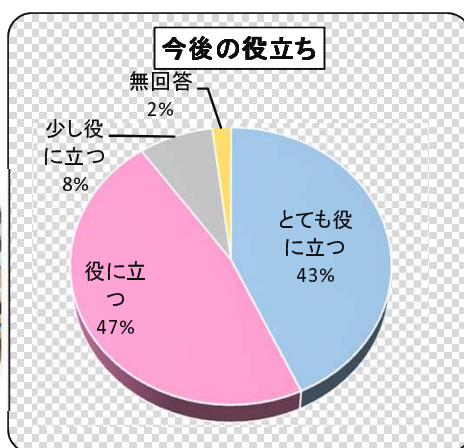
【昨年1年間関与して亡くなったがん患者さんの数】

0人	35
1人	4
2人	3
3人	4
無回答	5
計	51



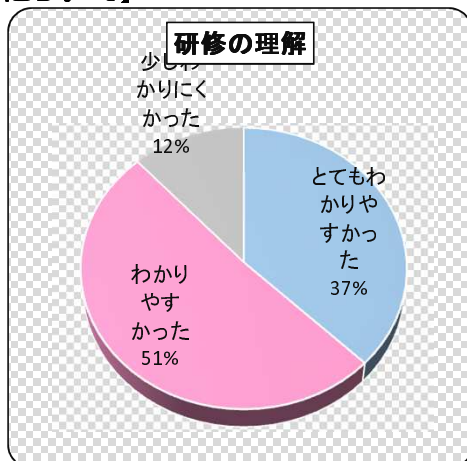
【今後の対応やケアでの役立ち】

とても役に立つ	22
役に立つ	24
少し役に立つ	4
無回答	1
計	51



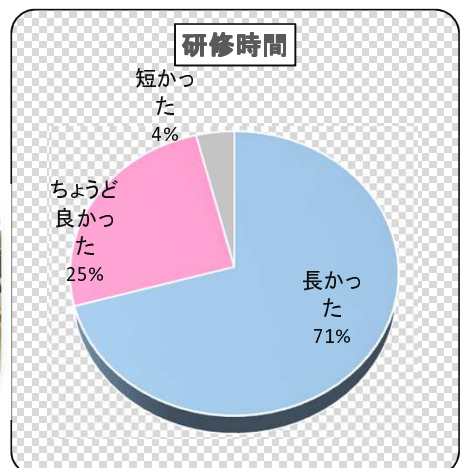
【研修の内容について】

とてもわかりやすい	19
わかりやすい	26
少し分かりにくかった	6
計	51



【研修時間】

長かった	36
ちょうど良かった	13
短かった	2
計	51



<自由記載>

- ▶ ロールプレイは初めての体験で緊張しましたが、実践的でそれぞれの立場になり考えることで、いつもと違った視点で見ることができました。今後の家族との関わり、日々の業務の中で活かしていけるようにしていきたいです。(40代 介護員)
- ▶ 利用者さんが亡くなった後の家族のケアまでは、今まで関わった事がなかったので、今回勉強できて良かった。施設での看取りは、利用者中心である事に変わりはないが、家族にも目を向けなければならないと思った。(20代 介護福祉士)
- ▶ 予定時間よりちょっと長かった。ロールプレイの未経験者が多かったので、貴重な経験ができたと思います。ありがとうございます。(50代 看護師)
- ▶ ロールプレイがとても良かったです。難しかったです。他kの方の意見を聞いたり、自分の事も客観的に見ることができたので、とても勉強になりました。研修に来ていただいてありがとうございました。(50代 介護福祉士)
- ▶ ロールプレイは実際に仕事をする上でよくある場面で、普段の対応を思い出しながら、講義でのスキルを取り入れながら行えた。緊張したが有意義な研修会となりました。(30代 看護師)
- ▶ ロールプレイ、とても良い経験をしました。(40代 介護福祉士)
- ▶ 看取りについて、普段家族に対し状況の説明はしていましたが、亡くなった後に何を話していけばいいの、すごく悩む事があります。しかし、沈黙は時には大事なこともあり、大切なのは家族主体であること、悲嘆的な感情も受け入れることで安心するので、はないかと思えました。本施設では、老衰で亡くなるケースが多く、家族さんからもできることをして頂いてます。今後も、今回の勉強会で学んだことを基に、本人(利用者)、家族さんが満足だったと言えるような看取りケアをしていきたいと思ひます。お忙しい中、貴重な勉強会ありがとうございました。(30代 介護福祉士)
- ▶ 実際ロールプレイをしてみて、気付かされた所が多く良かったです。コミュニケーション能力を高めていきたいと思ひました。(30代 介護福祉士)
- ▶ 実際に相手の立場になると、どうしてほしいのか、どうすればいいかが分り、とても勉強になりました。看取りの際に喪失感や悲嘆がつかなくなるのでいくらかでも楽になるように心の準備が大事だと思ひてきました。現状説明が今後この様になることなど、少しでも家族と話をし、くいの残らない看取りができればと思ひます。忙しい中、ありがとうございました。(30代 看護師)
- ▶ ロールプレイでの難しい状況設定は、現場でも応用される内容だったと思ひます。参考にさせていただきます。(40代 介護福祉士)
- ▶ 相手はどう思ひなのか。何を希望しているのか。相手の思ひを知ろうと想像することで、様々な言葉や対応も出て来るのだと思ひました。病院でもなく、家でもない、老健だからこそ出来る看取りケアを考えながら行っていきたいと思ひます。ありがとうございました。(30代 介護福祉士)